

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	民間保育所施設整備事業	会計	一般会計	事業No.	164	施策順No.	37-010
		事業種別	政策・重点	予算科目	3-2-5-13-1		
政策	3 健やかに安心して暮らせるまちづくり			課等名	子育て支援課		
施策	37 子どもを産み育てやすい環境の充実			事業期間	開始	S48	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	・民間保育所15園						A十分達成したBどちらかといえば達成したCどちらかといえばできていないDほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		民間保育所の数	14	14	14	15	15	
		改築等により事業拡大等を予定している民間保育所数	3	2	1	4	6	
意図		・民間保育所の施設の安全と良好を確保する。						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	改修実施園数/改修希望園数(%)	100	100	100	100	100	100	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	自己資金を伴うことから、民間保育所と調整しながら、計画的に進めている。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	<ul style="list-style-type: none"> ・民間保育所が行う施設改修等に対する補助事業。 ・安全で良好な保育環境を整備するため及び多様化する保育要望に対応するための改修整備等。 ・国は、国が算定する建築費の5/10相当をハード交付金として補助。市は、ハード交付金の80%(4/10)を補助。 ・市負担分については地方交付税等により一定の財政措置がされることとなっている。 ・平成21年度は農集排供用開始に伴う千代保育園の水洗化。 		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 時又保育園 耐震・大規模改修 補助基本額84,000*(基金1/2+市4/10)=75,600千円 2 明星保育園 トイレ改修 補助基本額12,526*(基金1/2+市4/10)= 11,273千円 3 認定こども園 サンタクララ保育園は24年度以降に対応 4 認定こども園 入舟幼稚園 移転改築 82,026*(基金1/2+市4/10)=73,823千円	改築園数	3園
23年度実施計画	1 慈光保育園 テラス及びトイレ改修 9,825千円*(基金1/2+市4/10)=8,842千円 2 あすなろ保育園 事務室等増築 25,000千円*(基金1/2+市4/10)=22,500千円 3 勅使河原学園保育園 改築 93,562千円*(基金1/2+市4/10)=84,206千円 4 慈光松尾保育園 移転改築 94,486千円*(基金1/2+市4/10)=85,037千円 民営化特別分(169,785千円-94,485千円*市1/2)=37,650千円 計 122,687千円 平成23年度、24年度二か年事業 23年度分は30%と見込んでいる 補助対象外経費として、用地取得、造成費用等280,220千円 *慈光松尾については、特別分として別に事務事業進行管理表あり 5 明星保育園 耐震改修、大規模改修は平成24年度に対応したい 6 サンタクララ保育園 耐震改修から改築に方向転換、平成24年度以降に対応	改築園数	4園

3 事業コスト

事業費	特定財源	国庫支出金	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項 (県)子育て支援対策臨時交付金(国1/2) 飯田市社会福祉施設整備事業補助金等交付要綱
	一般財源	県支出金	93,244	89,276	64,193	
		起債				
		その他				
	一般財源	計 (A)	74,597	71,420	51,354	
		計 (A)	167,841	160,696	115,547	
		正規職員所要時間		200		
		臨時職員等所要時間				
		人件費計 (B)		715		
		トータルコスト A+B		161,411		

4 事業に対する市民や議会の意見

<ul style="list-style-type: none"> ・保育要望は多様化しており、改修が必要な箇所が多くなっている。 ・年々老朽化が進み、修繕の必要性が増加している。 ・市の行財政改革の一環として、保育所の民営化を推進していることから、民間保育所の信頼性をより高めていく必要もある。
--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	子どもを育てやすい社会環境の充実	施策の成果指標又はムトス指標	子どもを育てやすい社会環境であると感じている対象者の割合
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	・リニューアルや耐震改修することで、園児たちがより安心、安全及び快適に生活することができるようになり、保護者等が安心して子どもを預けることができるようになった。		
	後期に向けた課題	・耐震化が必要な園もあるが、法人にとって多額の自己負担が必要となるので、協議しながら進めていく。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	・国や県の担当者や法人との協議を重ねてきた。		
	後期に向けた課題			
コストを削減するためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	・協議の中で真に必要なものかどうか検討してきた。		
	後期に向けた課題			
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	・適切である。		
	後期に向けた課題			
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしてみましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り			
	後期に向けた課題			
全体を通じて	4年間の振り返り	・計画的に進んできている。		
	後期に向けた課題			

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------